

施 策 評 価 シ ー ト (平 成 2 8 年 度 実 績 評 価)

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	4-2	政策名	参画・協働のまちづくり	政策の 目指す姿	お互いを尊重し、持っている特性と能力を活かし合い、まちづくりを行っています	施策 主管課	地域づくり課	施策主管 課長名	佐 藤 多恵子
	施策No.	1	施策名	市政への参画・協働機会の拡充	施策の 目指す姿	市政に関心を持って積極的に関わっています	関係課名			
	現状と課題		・本市では、平成20年に「花巻市まちづくり基本条例」を制定し、まちづくりに関する重要な計画策定時においては、パブリックコメントや意見交換会等を実施し、市政への市民参画を図るとともに、共通の課題解決に向け市民と市との協働によるまちづくりに取り組んでいます。 ・多様化する市民ニーズや地域課題に対応するため、懇談会等の実施により市民の意見を把握し市政への反映に努めています。							

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

(1) 参画・協働機会の拡充

- 重要な計画等の策定時における適切な方法を用いた市民参画の実施
 - ・市民参画・協働推進委員会、市民参画・協働職員チーム会議における市民参画の評価
 - ・市HPや広報による市民参画の指針、ガイドラインの周知及び市民参画予定や結果の周知
- 市民と行政による協働事業の推進
 - ・協働指針の周知による協働に対する考え方の共有
- (2) 広聴の充実
 - 市政懇談会やまちづくり懇談会等の実施
 - ・市政懇談会、まちづくり懇談会、市長へのはがきやメール
 - ・市長移動執務日及び本庁における市民との対話

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
市政へ意見を述べられる機会が確保されていると思う市民の割合 (G-4)	市政への意見を述べる機会や場に対する市民の満足度を測る指標として設定する。	まちづくり市民アンケート「あなたは市民が市政へ意見を述べる機会が確保されていると思いますか」の問に対し、「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した市民の割合	%	目標値				31.0	33.0	35.0
				実績値		28.8	28.5	32.2	39.4	41.2
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	■成果指標「市政へ意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合」・・・【達成度 a】 まちづくり基本条例に規定している市民参画は、市民参画ガイドラインに基づき実施されているが、実際に参画している市民は多くないのが現状である。 広聴の充実という観点では、従来から実施している市政懇談会への参加者や、市長へのはがきやメールの件数が年々減少傾向にある中、H26から実施している支所や本庁での市長との対話やH28には6地区においてワークショップ形式での市政懇談会を実施したことも市民の満足度の向上につながったと考えられる。また、市政懇談会や市長との対話への参加者の年代層は高い傾向にあるが、市民アンケートのクロス集計結果では、年代が上がるほど市政へ意見を述べる機会が確保されていると思う「どちらかというと思う」割合は増加傾向にあることも実績値が増えた要因と考えられる。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	市民・参画協働推進事業	地域づくり課	A	A
	・市民参画・協働推進委員会及び職員チーム会議における市民参画の評価 ・市広報や市HPでの市民参画の予定や結果のお知らせ 4回(H28市民参画予定 4件、実施公表 12件) ・市HPでの協働指針の周知			
2	広聴活動充実事業(ゼロ予算事業)	地域づくり課	A	-
	・市政懇談会、市長へのはがき・メールなどの広聴事業の充実を図る。(市長へのはがき 25件、市長へのメール 35件、要望陳情 37件、市政懇談会27会場 677人 意見 843件、まちづくり懇談会 4団体) ・本庁及び総合支所での市民との対話(157人)・総合支所移動執務での地域住民との懇談(団体意見交換会 43人)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)
なし

(新たに取り組むべき事業はないか)
なし

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・市民参画に対する市民(特に若い世代)の関心が低い。
- ・協働に対する市民の関心が低い。

(今後の方向性)

- ・今一度、市民参画について市広報や市HP等で周知を図り、手法については、より市民が参画しやすい工夫(方法、場所、時間等)を図る。
- ・市民と市との協働については、全庁的に意識の高揚を図るとともに、好事例などを紹介しながら、市民にとって身近なものであることの意識付けを推進する。
- ・市民と市との協働によるまちづくりをより推進するため、NPO法人等を中間支援団体として活用する。